



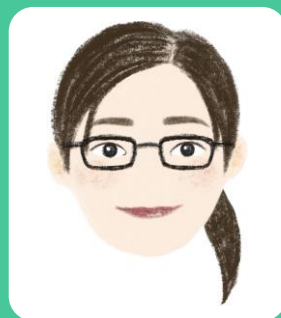
## 営農戦略室 人事異動のお知らせ

7月1日付で異動があり、営農戦略室は新体制になります。各担当における主要業務の変更はありませんが、メンバーの転出・加入がありましたので、ご紹介します。

### 新規メンバー【営農・担い手支援担当】

もり みわ  
森 美和

7月1日付で戦略室に配属  
となりました。早く皆様のお  
役に立てるよう頑張ります。



### 転出

尾上 晶子 営農戦略室 → 中央会総務部

お世話になりありがとうございました。総務部に異動になりましたが、引き続きどうぞよろしく願っています。

### 政策 推進

## 6/28・6/29 能登北部JA農機センターにて支援物資を配布

6月28日(金)、29日(土)に能登北部JA農機センターにて実施された【能登半島地震復興応援フェア】自動車・農機展示会で、JA石川県青壮年部協議会(以下、県青協)およびJA石川県女性組織協議会(以下、県女協)が能登半島地震復興のため、支援物資の配布を行いました。両日合わせて、約250名の来場者に物資をお渡ししました。営農戦略室からも2名が参加し、今後もより一層支援活動に励んでいくことを決意しました。

支援物資として、県青協では、県内外からお贈りいただいた義援金で購入したネッククーラーのほか、軍手やボールペンなどの物資を配布しました。県女協では、県内外からお贈りいただいた義援金で購入したルームライトに加え、日用品などこれまでに組織宛にいただいた物資の配布も行いました。



5月24日(金)にJA、県・市町行政、県農業会議の出席のもと、次世代総点検運動管理者会議を開催しました。会議では、令和5年度までの取組み経過から令和6年度の具体的な進め方を共有しました。また、石川県農業経営戦略課から県内の地域計画作成の進捗状況の説明があったほか、戦略室から他県の取組事例を紹介しました。

令和6年度は運動は集中実践期間の最終年度となることから、取組みを振り返るとともに、課題や成果を次期計画に反映させていくタイミングとなります。

地域の現状や将来見通し等、点検結果の妥当性検証と、農業者との話し合いによる優先取組地区・部会の課題確認と取組具体策の実行を進めていただくため、引き続き、関係機関と連携し、各地域でのチーム会議や個別協議に戦略室も参画しサポートさせていただきます。

なお、全中が作成した「次世代総点検運動の実践に向けて～実践JAの取組み事例集～vol.2」(令和6年5月作成)を5月下旬に各JA担当部署に配布しました。

全国各地の事例として、JA金沢市の取組み経緯やポイントなどが記載されておりますので、実践にご活用ください。

### <運動の実施項目と進め方>

ステップ	取組み項目	実施者	連携
計画	① 関係機関との進め方の協議	JA	県
	② 地域農業戦略の確認、品目毎の判断単位(範囲)設定	JA	
	③ 判断単位毎の現状分析・将来見通し策定	JA	県 市町
	④ 取組優先順位の策定(判断基準の設定)	JA	県 市町
	⑤ 判断単位毎の取組方向性の確認(R15年度末目標の確認)と支援先の明確化	JA→判断単位	市町 (県)
実践	⑥ 判断単位との実施具体策の検討	判断単位+JA	県 市町
	⑦ 判断単位個別取組の実践	判断単位(JA 伴走)	県 市町
	⑧ ③・④の更新 ⑤～⑦の取組サイクルの継続		

5月1日から、新しい『いしかわGAP(認証基準2024):以下、いしかわGAPという』が始まりました。

いしかわGAPは、農林水産省が実践が必要と定める「国際水準GAPガイドライン」に準拠し、旧いしかわGAPと比べ、より充実した内容となりました。JGAPやGLOBLE.GAPとは異なり、**無償で認証を受ける**ことができます。

石川県GAP推進協議会ではGAP研修(GH農場評価員養成基礎研修会)を初めとした研修会の開催し、いしかわGAPの認証を希望する農業者へ適切な営農指導を実践できる人材の育成を進めていきます。

このいしかわGAPを1件でも多くの農業者に認証いただくため、いしかわGAPチラシや取組マニュアルを作成しましたので、推進や取得支援についてご協力をお願いします。



6月25日(火)、園芸種苗センターにて野菜栽培技術研修(ハウス高温対策)を開催しました。全農西日本事業所吉田征司講師にハウス栽培のトマトを題材に講演いただき、作業管理の徹底や優先順位のつけ方の重要性に説明いただきました。

(株)アグリライン石川資材センターからは排熱システム「ダクトインレットファン」、遮光資材「レディヒート」を説明いただきました。全農いしかわ園芸種苗センターからは暑さ対策資材「アツミノリ」をご説明いただきました。

県内の生産者、JA関係者、県の普及員の方、合わせて38名の方に参加いただき、作業の優先順位や暑さ対策資材について様々な質問があがり、トマトを中心に施設園芸品目の高温対策を考える良い機会となりました。



日時	内容
7月9日(火)	かぼちゃWG先進地視察 @JA魚沼(新潟県)
7月10日(水)	農産物直売所連絡協議会 第2回 連絡会議
7月10日(水)10:00~	第2回TACアグリビジネススクール
7月12日(金)10:00~	事業間連携研修会
7月16日(火)・7月17日(水)	ういずOneトマト・パプリカ・巡回
7月29日(月)13:30~	第2回担い手サポートセンター会議